

III. 刊行報告書抄録

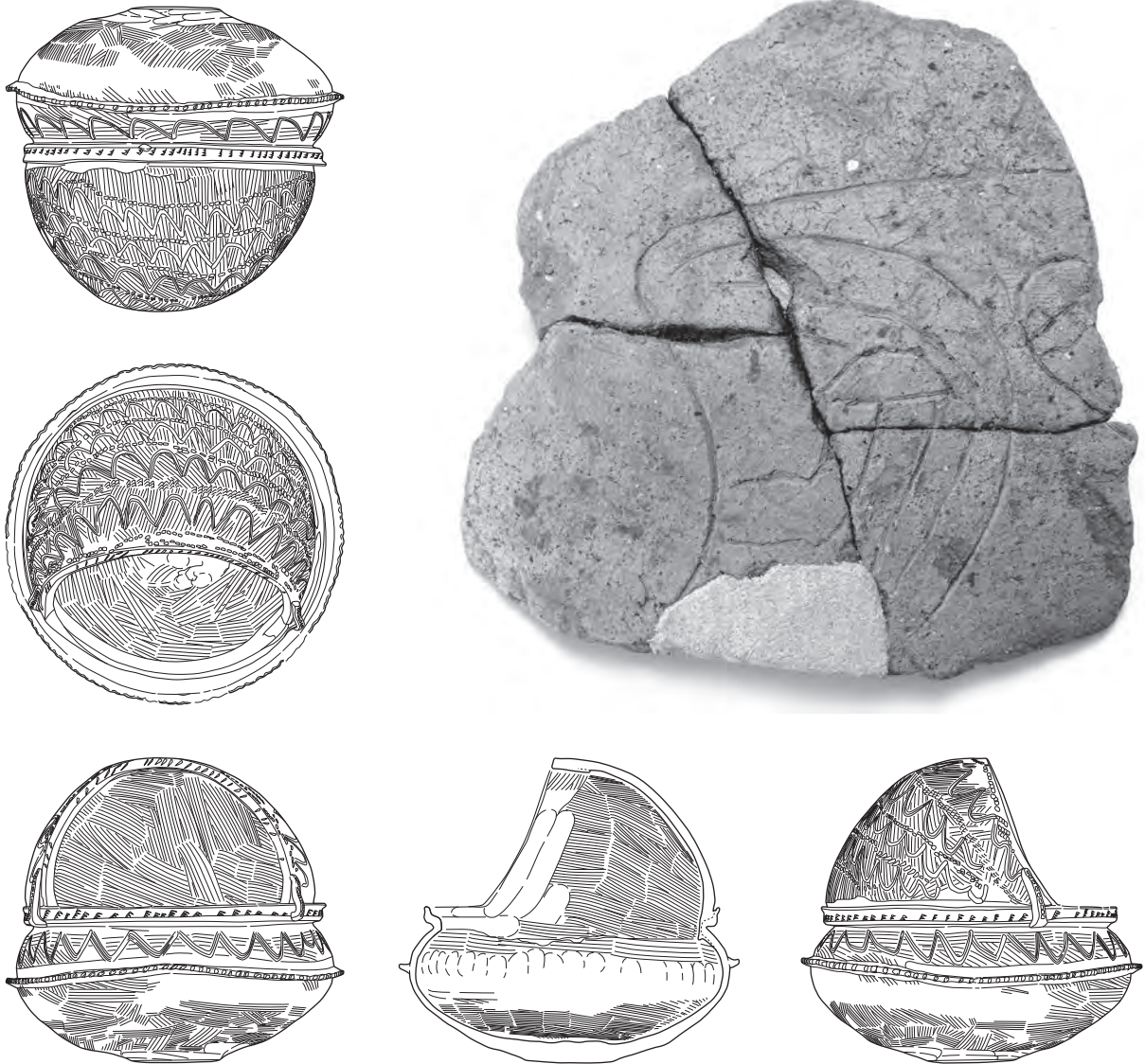
第210集 宮下遺跡・下懸遺跡Ⅱ・五反田遺跡・惣作遺跡Ⅲ

安城市東部の碧海台地の崖下を南北に流れる鹿乗川流域には多くの遺跡が形成されるが、本報告書はそのうちの宮下遺跡・下懸遺跡・五反田遺跡・惣作遺跡の4遺跡の発掘調査の報告書である。

調査は平成21年度から平成27年度の間、6カ年にわたって行われ、総調査面積は10000㎡、総出土コンテナ数は143箱である。

宮下遺跡では古墳時代前期の溝群、下懸遺跡では古墳時代初頭～前期の集落や、古墳時代～古代の流路、五反田遺跡では方形周溝墓、惣作遺跡では古代の集落や古墳時代～古代の流路を確認している。また注目される遺物としては、下懸遺跡から出土した古代の「文書木簡」や五反田遺跡出土の人面文が線刻された土器片や手焙り形土器・ガラス玉、惣作遺跡から出土した刀把装具があげられる。

(宮腰健司)



五反田遺跡出土の人面線刻土器と手焙り形土器

報告書抄録

ふりがな	みやした　しもかけ　　ごたんだ　　そうさく							
書　　名	宮下遺跡・下懸遺跡II・五反田遺跡・惣作遺跡III							
副　書　名								
巻　　　次								
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第210集							
編　著　者　名	宮腰健司・松田訓・樋上昇・永井邦仁							
編　集　機　関	公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター							
所　在　地	〒498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町字野方802-24							
発　行　年	西暦2018年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コ　ー　ド		北　緯 °′″	東　経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ひめした 宮下 しもかけ 下懸 ごたんだ 五反田 そうさく 惣作	あんじょうしきぐらいちようごやしろ 安城市桜井町小社 あんじょうしおかわちようむかいだ 安城市小川町向田 あんじょうしおかいちようごたんだ 安城市小川町五反田 あんじょうしきどちようそうさく 安城市木戸町惣作	23213	540105	34°55'30"	137°06'01"	2011年9月 ～2014年1月	280㎡	中小河川改良工 事(鹿乗川)
			540127	34°54'20"	137°05'43"	2009年11月 ～2015年12月	4480㎡	床上浸水対策特 別緊急事業(鹿 乗川)
			540130	34°54'13"	137°05'43"	2010年7月 ～2013年6月	2710㎡	交付金事業
			540132	34°54'00"	137°05'38"	2011年11月 ～2012年12月	2530㎡	
所収遺跡名	種　別	主な時代		主な遺構		主　な　遺　物		特　記　事　項
宮下遺跡	集落	古墳時代		竪穴建物・溝・土坑		土師器		
下懸遺跡	集落	古墳時代 ～室町時代		竪穴建物・溝・土坑 流路		縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器・灰釉陶器 山茶碗・石製品・木製品		線刻土器 墨書土器 文書木簡
五反田遺跡	墓・集落	古墳時代初頭 ～室町時代		方形方形周溝墓・溝 土坑		土師器・ガラス小玉 管玉・勾玉		人面文線刻土器 加飾手焙り形土器 墨書土器
惣作遺跡	集落	古墳時代 ～江戸時代		竪穴建物・溝・土坑 流路		土師器・木製品		刀把装具
文 書 番 号	発掘届出　（宮下遺跡：23埋セ第3号・2011.4.1、25埋セ第86号・2013.10.2） （下懸遺跡：21埋セ第64号・2009.9.29、25埋セ第8号・2013.4.11、25埋セ第84号・2013.10.2、25埋セ第154号・2014.3.25、27埋セ第75号・2015.9.17） （五反田遺跡：22埋セ第29号・2010.4.22、25埋セ第7号・2013.4.11）　（惣作遺跡：23埋セ第73号・2011.8.29、24埋セ第98号・2012.10.12） 通知（宮下遺跡：23教生第133号・2011.4.14、25教生第1981号・2013.10.18） （下懸遺跡：21教生第1436号・2009.10.9、25教生第242号・2013.4.24、25教生第1972号・2013.10.18、26教生第18号・2011.4.4、27教生第1742号・2015.9.29） （五反田遺跡：22教生第290号・2010.5.7、25教生第244号・2013.4.24）　（惣作遺跡：23教生第1562号・2011.10.11、24教生第2237号・2012.10.17） 終了届・保管証・発見届　（宮下遺跡：23埋セ第87号・2011.9.22、25埋セ第120号・2014.1.14） （下懸遺跡：21埋セ第145号・2010.3.12、25埋セ第90号・2013.10.21、25埋セ第144号・2014.3.6、26埋セ第54号・2014.7.9、27埋セ第105号・2015.12.16） （五反田遺跡：22埋セ第181号・2010.11.2、25埋セ第41号・2013.6.21）　（惣作遺跡：23埋セ第176号・2012.3.23、24埋セ第104号・2012.12.12） 監査結果通知（宮下遺跡：23教生第1767号・2011.11.9、25教生第2749号・2014.1.28） （下懸遺跡：22教生第543号・2010.6.11、25教生第2142号・2013.11.7、25教生第3312号・2014.3.25、26教生第1248号・2014.8.26、27教生第2617号・2016.1.13） （五反田遺跡：22教生第2093号・2010.12.24、25教生第2142号・2013.11.7）　（惣作遺跡：24教生第240号・2012.5.2、24教生第2511号・2013.1.19）							
	要　約							
	鹿乗川流域遺跡群は標高7m前後の沖積低地に立地する。この遺跡群に含まれる4ヶ所の遺跡、総面積10000㎡を、6ヶ年かけ調査を行なった。その結果古墳時代と古代の集落や、古墳時代の方形方形周溝墓群、古墳時代から古代まで続く流路の痕を確認している。また中世の溝群も出土している。遺物としては、古墳時代初頭の人面線刻土器や6世紀末頃の木製刀把装具、古代の文書木簡が目される。							

